

北海道 SDGs 推進ビジョン（仮称）に対する提案

○そもそも、なぜ SDGs のビジョンをつくるのか。

- ・ 北海道総合計画と同じ内容であるなら、新たに策定する必要はないのではないか。
- ・ 「SDGs」→「誰ひとり取り残さない」「バックカスティング」「同時解決」を取り入れる。
- ・ よりよい北海道を目指すために、北海道庁から考え方の「変革」を行っていく必要がある。

○それを踏まえ下記を提案する。

①骨子案「4. ビジョンの推進（2）推進手法・（3）推進管理」について

- ・ SDGs は 17 ゴール、169 ターゲット、230 の指標という構成であり、毎年 SDGs の進捗レポートを国連が発行していることから、本ビジョンにおける指標の設定と進捗管理を行うこと。
- ・ 指標は、マルチステークホルダーと協働の上、2019 年度末までに設定する。
※SDGs の指標は SDGs 決定後に策定（2016 年 3 月第 47 回国連統計委員会にて合意）
- ・ 指標の検討と合わせて、道民にビジョンの説明、それに対する意見を伺う場を道内各市町村と連携しながら実施する
→市民から声を聞く理由：対策の担い手としての要請・行政の判断の補完・負担の調整（合意形成）（出典：環境保全からの政策協働ガイド）ビジョンへの興味関心や理解が高まる可能性あり（裏面【参考】パブリックコメント・ワークショップを参照）

②「ガイドライン」の定義に対象の追加

- ・ 道民が課題解決のために行動することをガイドラインと呼び、北海道の各政策に「誰ひとり取り残さない」「バックカスティング」「同時解決」の考え方を明記すべき。
- ・ SDGs の同一目標の達成に貢献する施策は部局間が連携して実施し、効率的な運営を目指す。

③骨子案「3. 北海道のめざす姿と優先課題・対応方向（2）北海道の優先課題と対応方向」を削除

- ・ 「資料 3-3 優先課題の設定一覧」を構成員で埋めることは不十分である。
- ・ その代わりに、めざす姿の実現のために、自身の興味関心がどこにあるのか SDGs で整理する文言を追記するとともに課題解決が求められていることを示す。
- ・ 北海道の課題は 2.（1）北海道の現状・課題を参照するように促す。
- ・ 課題等をより具体的に知りたい場合、個別計画や SDGs ネットワーク加盟団体を参照するように促す。

④骨子案「4. ビジョンの推進（1）各ステークホルダーの取組」削除

- ・ 上記のようにそれぞれが自身で何ができるのか考えることとするため
- ・ ここの記載事項は、北海道が期待することであり、誰も同意したものではない。

【参考】

・パブリックコメント・ワークショップ

EPO 北海道ではパブリックコメントの機会を活用し、政策に関心を持つ市民が行政担当者と意見交換を行い、対話をとおして内容を読み解き、自分の意見を整理し、意見提出をお手伝いするワークショップを実施。

・実施事例

事業名：第2次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会
～私たちが創る「環境首都・SAPP ∪ RO」～

実施日：2018年1月9日

主催：環境中間支援会議・北海道

共催：札幌市

・ご意見等（一部抜粋）

「第2次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会～私たちが創る「環境首都・SAPP ∪ RO」～」におけるご意見・ご質問

・「」内は概要本文を引用
・意見交換会の中でコメントや質問を記載
・●は参加者が良いと思った施策やコメント等に貼ったシール数



**次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第2次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版 P6**

5. 環境施策の横断的・総合的な取組の推進（●2）
 (意見)
 ・土地の狭い日本なので、広く土地を使わないグリーンカーテンなどを多用し緑化を図ると良い（SAPP ∪ ROのマークをつけてPRする）。
 ・環境プラザをもっと活用できる位置づけを！ SDGsプラザへ。
 ・姉妹都市と若者の環境交流を！
 (質問⇒回答)
 ・札幌市の役割の具体的方針は？⇒個別計画で示している。
 ・「様々な主体との連携により…」の「連携」のための具体的な方法は？（●4）⇒SDGsを使って多様な連携を進める

<将来像の実現に向けた2030年の姿（長期的な目標）と管理指標>
 (質問⇒回答)
 ・「環境教育、学習や、産学官民が連携した…」の「民」の中身は？⇒市民社会、NGO/NPOなど。

<2030年までの施策の方向>

①幅広い世代への環境教育・学習の推進について
 (意見)
 ・社会教育とも連携を！（●3）
 (質問⇒回答)
 ・どのような学びが有効か話題はあったか？（●1）⇒学校教育でのエコライフレポート（95%の回収率だった）。

③環境保全活動を通じたコミュニティの活性化の推進について（●3）
 (意見)
 ・この視点が良いと思う。
 (質問⇒回答)
 ・子ども以外の環境教育はどこで行えるか？また、機会と場所は新たに作らなければならないか？（●2）
 ⇒NPO/NGO、市民講座、普及啓発、COOL CHOICE行動変容を促している。

④道内連携、様々な主体との連携の推進（●6）
 (質問⇒回答)
 ・「連携」のための具体的な方法は？
 ⇒SE（サッポロ エネルギー ゲートウェイ）のように、各分野において産学官民連携を進めている。

4. 「環境首都・SAPPORO」の実現に向けた推進体制
 (意見)
 ・学校教育中での環境教育を系統だったものに。全市民が同じ話で学べるように。
 ・市民参加による新たな進行管理を！
 ・SDGs各分野の施策との連携の評価を！
 ・札幌市だけではなく江別・右衛門を含めた札幌圏で進めてほしい（地方ではこれだけのことはできない）。
 ・「計画の進捗管理を実施…」で環境プラザで進捗の展示を！
 (質問⇒回答)
 ・市の職員への教育は？⇒規制の解消は難しいがSDGsの勉強会等の開催を行っている。
 (告知)
 ・2/1 都市と環境セミナー @ 東札幌

・アンケート結果（一部抜粋）

